

アンカレジ・千歳姉妹都市ユースサミット

今回の訪問では、姉妹都市提携40周年を記念し、7月27日から29日の3日間にわたり「アンカレジ・千歳姉妹都市ユースサミット」を開催しました。

千歳からは公募により参加した高校生2人と中学生3人の5人が、アンカレジからは6人の学生が参加し、議論を行いました。

議題は、昨年千歳で開催された「J8サミット2008千歳支笏湖」において議論された地球規模の環境問

題と姉妹都市交流についての2項目で、若者らしい視点で活発な議論が行われました。

参加した学生たちは、議論を通して、言葉や歴史、文化など両市のさまざまな環境の違いをお互いに理解し、共通の認識を深めることができました。

最終日には、議論の成果を「アンカレジ・千歳姉妹都市ユースサミット宣言」としてとりまとめ、両市の市長に提言しました。

アンカレジ・千歳姉妹都市ユースサミット宣言

アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市
2009年7月29日

私たち2009年アンカレジ・千歳ユースサミットは、アンカレジ市長 ダン サリバンと千歳市長 山口 幸太郎及び両市に対し次のことを提案します。

私たちは、アンカレジ・千歳間の姉妹都市交流について、以下のとおり提案します。

1. 両市における全てのレベルにおいて、文化理解と英語及び日本語の習得を促進します。
2. アンカレジ・千歳ユースサミットを5年ごとに行うことを要請します。
3. 相互間の理解を深めるために、テクノロジーを使って、若者間のコミュニケーションを増やすよう奨励します。
4. アンカレジ・千歳の若者間のスポーツ交流プログラムの構築を奨励します。

私たちは、アンカレジ・千歳の両市に対し、地球温暖化対策として、温室効果ガスの放出削減を次のとおり提案します。

1. 市民及び市ともに、クリーンエネルギー資源に切り替え、効率のよいエネルギーを使って、エネルギー節約に努めます。
2. 電気の節約、節水などを通して、町ぐるみで資源を保存していきます。
3. 徒歩や自転車、公共交通機関を利用することによって、排気ガスを減らします。
4. リサイクルを増やすことによって、ごみの排出量を削減します。学内のリサイクル運動をサポートします。
5. 環境を守るために、両市でさらに情報の交換を促進します。



活発な議論が行われた姉妹都市ユースサミット。

宣言では、国境を越えた地球温暖化対策や両市の教育、文化、スポーツの交流、相互理解を深める方法などが、将来の姉妹都市交流や国際交流を担う若者らしい視点で提言されています。

このサミットでの宣言は、千歳・アンカレジ両市の市民に向けた重要なメッセージです。市民が宣言を理解し、できることから取り組んでいくことが大切です。



サミットに参加した
そが部 美紀 さん
(高校3年生)

以前から海外に興味があったため、絶好の機会と思い参加しました。アンカレジの学生はとても気さくで、自由時間では気軽に声をかけてくれ、言葉が十分通じなくても楽しむことができました。しかし、議論ではしっかりとした意見を堂々と発表していました。積極的な発言ができるのは、日ごろの練習の成果で経験の違いを感じました。

サミットでは、「これまで環境問題について行動が足りず、自分たちの意識を変える必要があること」、「姉妹都市交流をより良いものとするためこのサミットを今後も継続すること」で全員の意見が一致したことで、これを重視した宣言としました。今回のサミットで、生活環境によってさまざまな考え方があることを学びました。また、人は対話を通じて交流するほどつながりが深まっていくことを実感しました。

もっとたくさんの方と出会い、海外について学び、さまざまな経験を積んで視野を広げたいと思います。